

特別講演

環境と共生した生活スタイルが求められて久しい。我々の生活はスローフード運動に代表されるように、確実に変化が現れている。ものづくりの世界においても、環境に配慮した製品作りが、日常の中に多く見受けられるようになってきている。これからのものづくりにおいて、考慮すべきことは何か。

本講演ではウッドセラミックスの開発事例を紹介する。ウッドセラミックスとは大量に発生する廃材や古紙などを再利用して作られた多孔質炭素材料で、原料採取から製品までの製造プロセス、さらに寿命の終わった製品のリサイクルを含めた処理に至る過程まで考慮した環境調和型材料である。本講演を通じて次世代のものづくりのあるべき姿について提言したい。

【日時】 2003年9月26日(金) 16:00～17:30

【場所】 関東職業能力開発大学校 100番教室

【演題】 環境とものづくり

—環境型ウッドセラミックスの製造技術とその利用—

【講師】 岡部 敏弘(おかべ としひろ)氏

青森県工業総合研究センター 環境技術研究部長

e-mail okabe@aomori-tenh.go.jp

【講師プロフィール】

昭和29年 福岡県出身

昭和54年 職業訓練大学校木材加工科(現 職業能力開発総合大学校)卒

昭和56年 東京農工大学大学院農学研究科修了

昭和57年 青森県工業試験場勤務

平成7年 東京大学 工学博士

平成13年 東京工業大学応用セラミックス研究所 客員教授

平成15年 青森県工業総合研究センター 環境技術研究部 部長

平成15年 弘前大学大学院地域社会研究科 非常勤講師

【主な著書】

木質系多孔質炭素材料ウッドセラミックス 出版社内田老鶴圃 1996年